

# ド イ ツ 語

ドイツの作家ゲーテは、「(複数の) 外国語を知らないということは、自国語について何も知らないということだ」との箴言を残しています。私自身の経験でも、大学で第二外国語(ドイツ語)を学んで初めて、英語はもちろん日本語に対する理解がぐっと深まりました。

また『モモ』や『はてしない物語』で有名なミヒヤエル・エンデは、一つの言語を学ぶことは、新しい未知の世界への発見の旅のようであると言っています。自国語について見識を深めると同時に、新しい世界の扉を開ける旅に、みなさんと一緒に出かけられることを今から楽しみにしています。

たとえば経営学・会計学への意欲に燃えるあなた。ドイツ経営・会計学は、日本・アメリカと並ぶ三本柱のひとつです。英語のほかにドイツ語ができれば、そのメリットは計りしれません。また、ドイツ語と英語は、同じゲルマン語に属していて、兄弟のように似た言語ですので、英語を深いレベルでしっかり学びたい人にも大きなメリットがあります。

EUは、世界の経済や政治、社会に対して大きな影響を与えています。そのEUの中でドイツが最大国なので、未来の自動車やインターネットのあり方、環境問題といったグローバルな課題に強力なリーダーシップを発揮していて、世界のルール作りを先導しています。ドイツ語を学ぶ先に見えてくるのは、世界を舞台に活躍するあなたの姿でしょうか。

あるいは本場ドイツのサッカー文化にもう一步踏み込んでみる…、原語で楽しんでみたい本や雑誌、映画や歌に触れてみる…、訪れてみたい古都やお城はありませんか？それともあなたの心に浮かんできたのは、やがて出会うかもしれないドイツの友人やパートナーでしょうか。「ドイツゴはムズカシイ」という先入観を捨てて一步踏み出せば、ドイツ語圏の社会や文化は、皆さんがどのサイドからアプローチしても、それに応えるだけの豊かな伝統とアクチュアリティ、未来への活力を備えています。

教室は新しい世界への「入口」にすぎませんが、私たちドイツ語教員は二年間のプログラムを通して、皆さんの新しい旅立ちの最初のお手伝いをしたいと思います。ぜひ教室でお会いしましょう。

